

2016年秋の(3200) Phaethon偏光観測結果

Polarimetric observation result of (3200) Phaethon in 2016 autumn

*伊藤 孝士¹、石黒 正晃²、荒井 朋子³、今井 正堯⁴、関口 朋彦⁵、Bach Yoonsoo P.²、Kwon Yuna G.²、小林 正規³、石丸 亮³、内藤 博之⁶、渡辺 誠⁷、倉本 圭⁴

*Takashi Ito¹, MASATERU ISHIGURO², Tomoko Arai³, Masataka Imai⁴, Tomohiko Sekiguchi⁵, Yoonsoo P. Bach², Yuna G. Kwon², Masanori Kobayashi³, Ryo Ishimaru³, Hiroyuki Naito⁶, Makoto Watanabe⁷, Kiyoshi Kuramoto⁴

1. 国立天文台天文シミュレーションプロジェクト、2. ソウル国立大学天文学科、3. 千葉工業大学惑星探査研究センター、4. 北海道大学大学院理学院宇宙理学専攻、5. 北海道教育大学旭川校、6. なよろ市立天文台、7. 岡山理科大学理学部応用物理学科

1. National Astronomical Observatory of Japan, 2. Department of Astronomy, Seoul National University, 3. Planetary Exploration Research Center, Chiba Institute of Technology, 4. Department of CosmoSciences, Graduate School of Science, Hokkaido University, 5. Asahikawa Campus, Hokkaido University of Education, 6. Nayoro Observatory, 7. Department Applied Physics, Okayama University of Science

(3200) Phaethonは活動的小惑星であり、その青いスペクトルやふたご座流星群母天体としても知られている。私達は2016年秋から冬にかけてなよろ市立天文台のPirka望遠鏡を使い、この天体の直線偏光を実施した。今回の観測では広い太陽位相角にわたりこの天体の偏光度を測定でき、この天体がとても高い偏光度を示すことを知った。本講演ではこの観測結果およびそれが示唆するこの天体の表面状態の推定について報告する。

キーワード：小惑星、Phaethon、偏光

Keywords: asteroid, Phaethon, polarization